

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

事業性質	事業小区分	種別
1 県・委託	1 ものづくり産業	1 ソフト
2 県・補助	2 食産業	2 ハード
3 県・負担金	3 観光産業	
4 県・上記以外	4 地場産業	
5 市町村事業	5 雇用環境の整備	
	6 農林水産業	
	7 地域医療・健康づくり	
	8 子育て・福祉	
	9 防災・危機管理	
	10 環境	
	11 市町村優先の行政システム	
	12 NPO・コミュニティ	
	13 県際・圏域間での連携	
	14 国体・障害者スポーツ大会	
	15 その他圏域の課題解決	

県北広域 振興局

No.	名称		金額		事業コード			評価結果
	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
1	農業担い手育成推進事業	久慈地方農業農村活性化協議会、二戸地方農林水産振興協議会	2,897,202	1,697,202	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	認定農業者、中心経営体、新規就農者及び女性農業者の経営向上等に向けた意欲の醸成が図られた。
2	集落営農組織活動支援事業	農政部	613,746	613,746	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	新たに設立された法人の低コスト生産体系の構築と、耕畜連携の推進が図られた。 平成29年度以降、直播栽培の防除技術実証や、稲ソフトグレインサイレージの品質向上に向けた取組を支援していく。
3	畑地かんがいステップアップ事業	農政部	796,518	796,518	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	畑地かんがいの普及啓発活動を通じ、農家に畑かん利用の機運が高まり、用水使用量の増加や個別給水栓の申込みが増加した。 また、新たに二戸市において県営畑地帯総合整備事業が採択となり、当事業の所期の目標は達成できた。
4	久慈地方ほうれんそう産地強化促進事業	農政部	274,082	274,082	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	地域リーダーの育成と確保には、本人の自覚・資質向上とともに、地域生産者からの認知が必要となるが、当該事業ではその部分での取組にやや欠けていた。今後は通常の普及活動の中で、野菜部会活動や支部活動の活性化などを支援しながら、自主的活動を行う産地形成を目指す。 なお、今回の技術実証担当農家の一部については、引き続き重点的な支援を継続してさらなる資質向上を図る。
5	二戸型農作業労力確保チャレンジ事業	新岩手農業協同組合北部営農経済センター、新岩手農業協同組合奥中山営農経済センター	921,118	460,559	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	新岩手農業共同組合北部営農経済センターの雇用事業は、農協が主体となる仕組みはできており、平成28年度製作した農作業紹介DVDの活用も期待される。 また、複数品目や複数の農家をアルバイトできる仕組みづくりと葉取りヘルパーの応募が減少していることから、定着する仕組みづくりを支援する。 新岩手農業共同組合奥中山営農経済センターの雇用事業は、アルバイトの募集時期や募集方法等について、検討し、改善する必要がある。品目によりアルバイトの体制が異なる(トマトは班編成で農家を回る。レタスは農家毎に作業があるため、長期雇用を想定等)ため、それぞれの品目に応じた雇用の仕組みを確立させる。

6	県北畜産の産地づくり実践事業	農政部	1,514,819	1,314,819	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<p>繁殖経営生産性向上については、分娩間隔の短縮に一定の効果が見られたが、農家による実証結果の差が大きいため実証頭数を増やし効果の検証が必要である。</p> <p>乳質改善指導により、対象農家の乳質改善が図られた。経営意欲が高く、新たに施設整備を行って規模拡大を図る農家について、管理技術を向上させるため指導を継続していく。</p> <p>飼養管理に係る農家指導により、周産期病や繁殖性向上による生産性向上が図られた。今後は、更なる生産性向上のため実証内容の周知とステップアップした飼養管理改善指導を継続していく。</p>
7	県北地域頑張る6次産業化応援事業	農政部	866,903	866,903	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<p>6次産業化アプローチ見学会、体験会の中で、これまで座学中心だった内容を、実践者の取組を実際に見学することで、6次産業化に対する具体的なイメージがつかめた生産者が多く、実際に取り組みたいという意欲を持つ生産者を誘導できた。</p> <p>6次産業化サポート研修会の中で、他地域の取組状況を直接聞くことは参考となり、一部の市町村では平成29年度以降の市町村戦略構想作成に前向きとなった。</p> <p>産直自らが立てた運営改善計画書や取組状況に対し、直接指導を受けることで、改善到達が向上し、また販売額向上にもつながった。</p>
8	県北地域特産物等PR支援事業	農政部	1,327,357	1,219,883	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<p>PRマップは、配布数の8割以上が消費者の手に渡るなど、消費者のPR効果につながった。</p> <p>販売促進支援は、PRの必要性を強く感じた団体が、平成29年度以降は首都圏での販売に意欲を示すなど改善が図られた。一方、特産物の販売PR支援を望む声も多く、平成29年度以降もPR支援を検討していく。</p> <p>地域特産物を味わう機会の提供では、継続的に特産物を味わう機会が欲しいという意見が多かったため、イベントに留まらない手法で事業を継続するようにしたい。</p>
9	「林業・木材産業」新規就業促進対策事業	林務部	269,892	269,892	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<p>当初の目標を上回る成果を得ることができ、当事業の所期の目標は達成されたと考える。しかし、体験講座は、授業の一環として実施したことにより対象者が限定されたため、平成29年度は対象者を拡大するなど内容を改良しながら、林業・木材産業に対する認知度向上などに努めていきたい。</p>
10	元気のある木炭産地づくり促進事業	北いわて木炭産業振興協議会	414,088	207,794	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<p>木炭生産者は、地域を代表する産業の担い手であることを再認識し、木炭生産は、やりがいと生活を支える所得を得られる仕事となるよう、生産力・経営意欲を向上させていこうとするやる気を喚起することができた。</p> <p>北いわて木炭産業振興協議会役員会では、木炭生産者の経営の安定化に向け、木炭の地理的表示(GI)取得し、国から地域ブランド保護や品質のお墨付きを貰うことで知名度と木炭価格の向上につなげること、その品質や管理方法についても多くの木炭生産者が取得できるように設定することで検討が進んでいる。</p> <p>今後は、木炭生産者への合意形成と木炭の品質管理のための研修などに取り組む。</p>

11	久慈地方産原木乾しいたけ直接販売推進事業	久慈地方森林組合	363,000	219,000	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<p>頭打ちとなっている市場価格への対策として、販売店等で良品の販売促進活動を実施したところ、「どんこスライス」については、「らら・いわて」での販売が開始されるなど、成果を上げることができた。</p> <p>今後は、販売店舗をさらに拡大するため、商談会等への参加を実施するほか、外国人観光客に対するPRができるよう翻訳したパンフなどの作成に取り組む。</p>
12	浄法寺漆資源確保対策支援事業	林務部	902,490	902,490	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<p>PRチラシの製作・配布などにより、漆林所有者に対して保育管理の重要性の普及啓発が図られた。今後も継続的な普及啓発をしていく必要がある。</p> <p>漆資源調査は、87箇所が終了し、平成29年度も調査を実施する。</p>
13	コンテナ苗木を用いた低密度植栽普及事業	林務部	214,506	214,506	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<p>コンテナ苗木による低密度植栽は、低コスト林業の実現に向けての具体的方策の1つであり、今後も研修会の開催などを継続し、地域に定着するよう普及啓発していく必要がある。</p>
14	久慈地域水産物商品力強化事業	久慈地域「海の幸」PR協議会	1,693,565	982,184	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<p>平成28年度は、各種販売促進活動及び水産加工品の開発への支援を行った。消費者からの意見の聞き取りや新商品の開発を行うことができた一方で、台風10号被害の影響で日程調整ができず、予定どおりの活動を実施できなかった。</p> <p>平成29年度は、新たな水産加工品・水産物の掘り起こしや、それら水産加工品等の販売促進活動、研修などを実施していく。</p>
15	県北広域カワウ被害防止体制構築事業	水産部	646,709	646,709	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<p>管内各河川におけるカワウの飛来・営巣状況を継続的に把握するとともに、カワウ飛来防止対策の効果を検証することができた。</p> <p>今後は、各漁協においてカワウの飛来数に応じた対策が講じられるよう、容易な対策方法の検討や飛来防止効果の定量化についてのデータを収集する必要がある。</p>
16	浜の産直開始支援事業	久慈地域「海の幸」PR協議会	916,445	516,445	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<p>生産者による直接販売は、高鮮度の水産物の提供により来場者からも高評価であったため、平成29年度以降も継続開催されることになった。</p> <p>漁協女性部の浜料理提供に対する知識と自信が向上し、地域イベントなどでの地元水産物の料理提の意欲が醸成された。</p>
17	定置網漁業へのカイゼン手法導入事業	水産部	406,510	406,510	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<p>定置網は、漁場位置、規模、使用漁船の隻数、装備・能力により操業状況が異なるため、専門家による実作業中のカイゼン点の抽出はより現場の実態に沿ったものとなり、今後における関係者の主体的なカイゼンへの取組が期待される。</p>

18	北の海人養成塾	水産部	6,251	6,251	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<p>平成28年度は、天候不良および台風10号の影響により、内容を企画時から変更せざるを得なかったことから、平成29年度は、天候に左右されずに実施できる座学を交えた内容に見直しを図る。</p> <p>見直しにあたっては、若手漁業者との座談会など、生徒の漁業への興味、関心を高める内容のほか、高校3年生の希望者には、就業をより意識した定置網実習を行う。</p> <p>引き続き関係者と協力して、生徒の漁業への興味や関心を高め、職業意識を醸成し、漁業就業に結びつける取組を行っていく。</p>
19	久慈地域カキ産地化加速事業	水産部	97,632	97,632	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<p>県北地域での原盤種苗によるカキ養殖は、初めての試みであり、当事業によって得られる成長、生残などのデータはカキ養殖を振興するうえでの貴重なデータとなる。引き続き生産者と協力して試験を実施していく。</p>
20	北いわて滞在型観光推進事業	経営企画部	3,788,048	3,788,048	4 県・上記以外	3 観光産業	1 ソフト	<p>平成28年度においては、観光素材及び観光メニューの精査が進むとともに、地域の観光人材の育成が図られた。平成29年度においても、引き続き情報発信及び人材育成に向けた取組を進めることとする。</p> <p>また、管内市町村及び八戸圏域と連携した観光PR活動も定着してきたことから、平成29年度においても連携体制を維持し、引き続き久慈地域への観光誘客の取組を進めるとともに、北海道新幹線の開業、平成30年に予定される宮古～室蘭間フェリーの就航等交通状況の変化をとらえ、新たな広域周遊観光ルートの形成に向けた取組展開を図りたい。</p>
21	カシオペア体験交流推進事業	二戸地区広域商工観光推進協議会、折爪岳振興協議会	5,846,395	4,451,395	2 県・補助	3 観光産業	1 ソフト	<p>平成28年度に配布した「折爪・馬仙峡ガイドマップ」を増刷し、引き続き、二戸地域の魅力を発信するほか、おもてなし機運醸成に貢献した大型タペストリーの内容を変更作成、二戸駅に掲示し、おもてなしの機運を継続させる。</p> <p>おもてなし講座においては、平成28年度の参加者からの評価などを踏まえ、引き続き、ボランティアガイドなどの若手、担い手を育成し、体験交流プログラムの各実施主体のさらなるネットワーク化を進める内容とする。</p> <p>体験交流プログラムの新規企画・内容拡充については、平成28年度は2件の支援を行い、平成29年度以降のプログラム実施の継続性に貢献できたことから、引き続き、新規企画・内容拡充の支援を行い、プログラムの充実を図っていく。</p>
22	久慈地域食産業売上向上支援事業	経営企画部	2,515,034	2,515,034	4 県・上記以外	2 食産業	1 ソフト	<p>県内外における商談会などへの出展支援やバイヤーの招待を通じて、地域事業者の売上向上に資することができたと考え。</p> <p>今後も事業者の声や市場のニーズに敏感に、催事業単発ではなく、継続取引等につながるような広がりのある事業を実施していく必要がある。そのため事業効果の検証やブラッシュアップを不断に図りながら、販路の開拓や新商品開発の支援、県産食材の効果的な発信、各種支援制度の周知・活用促進など、中小零細の多い管内事業者に寄り添った取組を行っていく必要がある。</p>

23	二戸地域食産業育成事業	経営企画部、二戸地区広域商工観光推進協議会	1,314,674	913,674	1 県・委託	2 食産業	1 ソフト	<p>鶏肉の日PRキャンペーンについては、「とり合戦」イベントの実施と併せ、鶏肉の産地としてのPR、地産地消の取組として一定の成果が得られた。また、事業者からも好評を得たため継続して実施する。</p> <p>若手経営者等の育成支援については、地元商工団体に助成対象となる事業者選定の協力を依頼したことで、平成27年度までの課題であった特定の事業者へ偏らない選定となった。</p>
24	北いわてものづくり産業人材育成事業	経営企画部	3,383,132	3,383,132	3 県・負担金	1 ものづくり産業	1 ソフト	<p>平成28年度が5回目となる県北ものづくり改善塾は、会場企業の生産性が向上したほか、参加者の改善意欲の向上が見られるなど、県北地域のものづくり企業における社内人材育成に貢献する取組となっている。</p> <p>また、アパレル関連見本市への出展や地元高校生等からのデザイン募集による洋服制作・発表等が、県北地域の優れたものづくり産業をアピールする場となっていることから、こうした取組を継続していく。</p>
25	久慈地域「健康(適量&適塩+適動)★アマノミクス」推進事業	保健福祉環境部	560,598	560,598	4 県・上記以外	7 地域医療・健康づくり	1 ソフト	<p>久慈地域適量・適塩・適動実践リーダー研修会は、当初の目標を上回る参加者があり、参加者アンケートの結果も良かったため、本研修の目的は達成されたと考える。</p> <p>「食べて動いて今日も元気だなす」イベントは、天候や災害に左右される内容のため今後の課題である。</p> <p>保育園児と高齢者のほっこりふれあい健康プロジェクトは世代間交流、伝統文化継承に繋がった。</p> <p>「久慈地域★塩加減もあまちゃん」通信は、活動活発化につながったと考えられるため今後も継続して実施予定である。</p>
26	成年後見制度推進事業	保健福祉環境部	717,000	717,000	1 県・委託	7 地域医療・健康づくり	1 ソフト	<p>成年後見に関する関係機関の理解が進み、平成28年12月21日に管内4市町村共同による成年後見センターの設置となった。</p> <p>今後の成年後見制度推進については、成年後見センターが中心となっていくこととなるが、ネットワーク会議メンバーとして今後も支援していく。</p>
27	困りごとをともに考える地域づくり事業	保健福祉環境部	333,947	333,947	4 県・上記以外	8 子育て・福祉	1 ソフト	<p>複数の生活課題を抱えている方や従前の相談支援の枠では対応できずにいた方を早期に発見し、市町村や各社会福祉分野の枠を超えた包括的な支援が実施できる体制が整った。しかしながら、制度そのものが始まったばかりのものであることから、引き続き地域が一丸となった取組が必要と考える。</p> <p>相談支援事例の中には、その生活圏などが隣接する盛岡や久慈地域に重なる方も多いため、平成28年度は情報共有程度に終わったが、二戸・盛岡・久慈地域の地域間連携(岩手県北部地域における生活困窮者自立支援機関の連携会議)も推進していく必要があるものとする。</p>

28	カシオペア連邦森川海連携推進事業	保健福祉環境部	251,400	251,400	1 県・委託	10 環境	1 ソフト	<p>若年層への環境保全意識の普及啓発及びカシオペア連邦流域ビジョンの周知については、概ね達成されたものとする。環境フェスティバルへの参加者数は目標を超え、若年層も多く来場したものの、前年度と比較するとやや減少した。実施時期やイベント周知方法などの再検討が必要である。</p> <p>また、より多くの人へ普及啓発を図るという観点では、地域のお祭等、人が集まる場で実施することも一つの手段として検討する必要がある。</p> <p>今後も、若年層への普及啓発をキーワードに、実施方法を工夫しながら普及啓発を図っていく。</p>
29	環境を守り育てる人材育成事業	保健福祉環境部	150,368	150,368	4 県・上記以外	10 環境	1 ソフト	<p>環境問題に関する講演会等については、開催時期の遅れにより、対象としていた中高生の参加が難しくなったため、環境保全団体等を中心に参加者を募り、講演会のみで開催となった。講師との意見交換や他校生徒との情報交換が十分に行えるよう、開催時期、時間を考慮する必要がある。</p> <p>水生生物調査については、新規調査実施校2校と、普及啓発の効果が認められた。学校訪問の中で、実施したいが手順がわからない等の意見もあったことから、継続して普及啓発を図ることで、新規実施校の拡大につながると考えられる。</p> <p>なお、教師を対象とした指導者研修会は、周知や参加者の募集に苦慮したことから、教師の都合を考慮し、休日(夏季休暇期間含む)開催も検討する。</p>
30	北三陸じえし会プロデュース地域力強化・発信事業	経営企画部	316,585	316,585	4 県・上記以外	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	<p>「じえし会コレクション」については、初めて開催した。地元での認知度向上のためにも、「じえし会コレクション」については継続して実施する。</p> <p>地域情報発信支援事業については、対象を北三陸じえし会だけに限らず、管内で活動する他団体も対象とする。</p>
31	カシオペア若者定住事業	経営企画部	2,344,000	2,344,000	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	<p>平成27年度と比較し、地域内外での活動や情報発信を通じ、地域に関わりを持つ若者を増やすことが出来た。特に、事業に参加した学生に関しては、今後の進路の中に、定住やUターンについて考えてもらうきっかけになったと考える。</p> <p>平成29年度も継続して事業を実施していく上で、更なる事業参加者の増加や、定住等をより現実的に考えてもらうため、事業内容のブラッシュアップが必要である。</p>
32	「海と山をつなぐ道」トレイル事業	経営企画部、土木部	837,148	837,148	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	<p>平成28年度は一般参加者が36名あり、参加者の中には毎年度参加している方もいることから、当該事業が毎年恒例のイベントとして県北圏に定着してきている。また、道路愛護精神の啓発の活動も同様に県北圏に定着してきているものとする。</p> <p>トレイルイベントは、県北管内のみならず盛岡、八戸等管外からの参加者も多く、当該地域からの誘客効果が期待できる。みちのく潮風トレイルについては、当地域の新たな観光素材として、今後も市町村と連携しながら活用を図る。</p>
33	三陸ぐるっと食堂開催事業	三陸ぐるっと食堂 in IWAIZUMI 実行委員会	418,979	418,979	3 県・負担金	13 県際・圏域間での連携	1 ソフト	<p>開催直前に発生した台風10号の被害により、中止となった。平成29年度は久慈市での開催を予定しており、関係機関と連携しながら実施する。</p>

34	地域のチカラ発信事業	経営企画部	2,619,370	2,619,370	1 県・委託	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	<p>全戸配布広報紙は、「いわて県民計画」や「東日本大震災津波復興実施計画」に基づき、県北広域振興局で重点的に取り組んでいる施策などについて、住民に分かりやすく周知することが出来たと考える。引き続き、施策などについて、分かりやすく住民に対して情報発信していくことを通じて、住民の地域振興への理解と参画を促すとともに、より相乗効果の高い施策につながるよう、全戸配布広報紙の発行を行うこととする。</p> <p>復興の現場見学会については、アンケートの結果によると、現場の担当者からの説明により復興の状況を直接見ることができたことなどにより、参加者全員が「参加して良かった」と回答しており、震災記憶の風化防止に寄与することができた。</p>
35	希望郷いわて国体・希望郷いわて大会情報発信事業	経営企画部	1,100,520	1,100,520	4 県・上記以外	14 国体・障害者スポーツ大会	1 ソフト	<p>希望郷いわて国体・いわて大会で全国から訪れた方々に対して、歓迎、感謝の気持ちを示すとともに、県北地域の観光地や北いわてを代表する戦国武将九戸政実をPRすることができた。</p>
36	動物愛護管理普及啓発事業推進事業	保健福祉環境部	168,389	168,389	4 県・上記以外	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	<p>災害時の動物救護対策の実践的な活動として、平成29年度は県と久慈市が災害時の同行避難訓練を行うことが計画されるなど、関係者の理解は深まりつつあると考える。</p> <p>動物愛護の普及啓発については、参加者等からの意見を取り入れるなどして、より効果的な普及啓発行事を継続して開催することが重要であると考える。</p> <p>動物の一時預かりボランティア制度を運用した結果、ボランティアの負担が大きかったことから、平成29年度は、ボランティアとの連絡を密に行うなど、より適切な制度の運用に努めたい。</p>
37	平成28年産サケ稚魚健苗性向上事業	水産部	1,771,200	1,771,200	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<p>平成28年産サケ稚魚生産は、台風10号被害やサケ回帰親魚の不足などによって、健康な稚魚の生産が難しいものであったが、高度な飼育技術を持つ下安家漁協職員の指導によって、健康な稚魚が生産できており、4年後のサケ資源の回帰が期待される。</p> <p>また、ふ化場職員の交流も促進されたことで管内ふ化場の技術レベルの向上が図られる。</p>
合 計			43,579,620	38,353,912				